

## 東海道五十七次の旅



大東 敏治 (第 24 期)

(後ろに高麗橋の文字が)

『e-Crossroads』(No. 5, August 2015) に、高校の同期生と旧東海道を歩いていることを投稿しましたが、2017年5月27日に大阪(高麗橋)に到達しました。



高麗橋では卒業50周年記念関西大会を兼ねて多くの旧友が出迎えてくれました

歩いているといろんなことがわかってきます。

改めて納得したのは、歩いていると目に入るものが走っているには気づかない、ましてや車窓からでは全く見過ごしてしまうということです。

歩くことは最大の健康法、ボケ防止に最適です。



赤字が東海道五十七次

さて、ここで地名に絞って気紛れなクイズを、、、

(諸説あるので真面目に考えなくていいですが)

日本橋からの三宿場、品川、川崎、神奈川、それぞれ川は本当にあった？

4番目の程ヶ谷、保土ヶ谷、どっちが古い？

戸塚の戸、藤沢の藤、平塚の平はなぜ？

大磯はオイソ？

江尻の江は？

日本に府中はたくさんあるが、東海道の府中は？

②箱根、⑤鈴鹿に並んで東海道の三大難所といわれる「○○の□□峠」はどこ？

「東海道五十三次どまん中○○宿」とは？

吉田宿の豊橋は何川に架かる橋？

知立がどうして池鯉鮒に、そして知立に戻った？

脇街道の佐屋街道はどこからどこ？

駿河より先に行くと随所に秋葉山常夜灯が立っているが、AKBの秋葉原は秋葉山に由来している。

などなど、結構新発見が多いです。

旧街道は心身の活性化にいいです。

皆さんにも是非お勧めします。

以下、2017年5月28日(日)付けの愛媛新聞です。



旧東海道を歩くイベントで、ゴールを果たし出迎えた同級生らと喜ぶ愛光学園の卒業生ら

2年半余りかけて旧東海道を完歩—。2014年秋から定期的に旧東海道をリレー形式で歩いてきた愛媛県松山市衣山5丁目の愛光学園の9期生(1967年卒業)有志が27日、計約540キロを歩き抜いた。大阪で出迎えた同級生たちと喜びを分かち合った。

イベントは、大東敏治さん(68)＝東京＝が「65歳の節目に軽い気持ちで始めた」と企画。14年9月に東京の日本橋をスタートし、季節の良い春と秋を中心に計17回、27日間をかけて確実に歩を進めた。その都度参加者を募り、関東や関西などから最大で10人ほどが集まっていた。

天候に恵まれた27日朝には、大阪の守口市を出発。途中で合流したメンバーを含め計10人が「アンカー」を務めた。

一行は豊臣秀吉が防備のために作ったとされる蛇行した道「七曲がり」や、昔ながらの商店街などを進んだ。約10キロの道中では、近況報告や昔話などの会話に花を咲かせ、大阪市の高麗橋にゴール。仲間と握手したり、記念撮影をしたりして労をねぎらっていた。

旧東海道を1人で完歩した3人のうちの1人でもある大東さんは「感無量で、疲れも吹っ飛んだ。また次の企画も考えたい」と充実した表情で話した。

<2017.6.11 記>

☆☆☆